

学 習 指 導 案

茨城県立つくば工科高等学校

| | | | | | | |
|---|---|---|---------------|---------------------------|-------------------------------------|--|
| 実施日時 | 平成29年10月12日（木） 3 時限 | 教科・科目 | 設備計画 | | | |
| クラス（人数） | 第2学年*組（*名） | 指導者氏名 | 新田 航平 | | | |
| 単元 | 第2章 設備に関する建築構造 1. 2 事務所建築の計画 | 教科書名 | 設備計画 | | | |
| | | 発行所 | | | | |
| 単目標 | 1 代表的な建築物である事務所建築の計画について関心をもち、主体的に学習しようとする。 【関心・意欲・態度】 2 事務所建築の計画に必要な知識を深め、用途や目的に合わせた平面計画、防災計画を立案することができる。 【思考・判断・表現】 3 事務所建築の計画の概要について理解し、実際に活用できるようにする。 【技能】 4 事務所建築において、事務作業が効率よく行える住環境の在り方や防災のための配慮などについて知識を深め、理解する。 【知識・理解】 | | | | | |
| 指導計画 | （全4時間扱い） 第1次 事務所建築の計画 … 4 時間 1 時 事務所の目的，貸事務所の計画 2 時 平面計画 3 時 防災計画（本時） 4 時 避難計画 | | | | | |
| 本時目標 | ・ 建築材料の性能について予想を立て、話し合うことができる。 【関心・意欲・態度】 ・ 事務所建築の防火対策について理解する。 【知識・理解】 | | | | | |
| 準備資料 | 教科書，プレゼンテーション用パワーポイント，ノート，確認テスト | | | | | |
| 学 習 の 展 開 | 導入 | ○建築物が受ける主な災害について考える。 ・地震 ・暴風 ・洪水 ・火災 | 一斉 | 5分 | ○災害の事例を幅広く取り上げる。 | |
| | 展 開 | ○火災の原因と被害について過去の事例を基に考える。 | 一斉 ・ 個別 | 10分 | ○自然災害と人的災害の違いを説明し過去に起きた火災の事例を取り上げる。 | ● 建築材料の性能について予想を立て、積極的な話し合いができる。 【関心・意欲・態度】 |
| | | ○構造部分の対策として耐火構造と防火構造の違いの説明を聴く。 | | 10分 | ○耐火と防火の違いを火災の事例を交えながら説明する。 | |
| | | ○いくつかの建築材料の例から、建築材料の性能について予想を立て、話し合う。 ・話し合いの結果を発表する。 ・防火材料の特徴を理解する。 | | 10分 | ○時間を区切り話し合いが活発に行われるよう机間指導を行う。 | |
| | | ○構造面，材料面以外の防火対策について理解する。 ・防火区画，特定防火設備 | | 5分 | ○教科書で重要な箇所には下線を引かせる。 | |
| | ま と め | ○本時の内容に関する確認テストを5分間で行う。 | | 5分 | ○テスト終了後，自己採点を行わせる。 | ● 事務所建築の防火対策について理解できる。 【知識・理解】 |
| ○確認テストの解答を確認した後改めて本時の内容を振り返る。 ○次回内容の確認をする。 | | 一斉 | 5分 | ○テストで間違えた箇所は復習しておくように伝える。 | | |